

海軍公報

第二千二百二十三號

海軍大臣官房

昭和九年三月十七日(土)

○令達

官房第一一六六號

來二十一日春季皇靈祭同神殿祭ニ付在京諸官ハ當日左ノ通心得ベシ

昭和九年三月十七日

海軍大臣

一、午前九時三十分賢所參集所ニ參集スベキ者

親任官、勅任官同待遇

一、正午ヨリ午後一時迄ニ參拜スベキ者

奏任官同待遇並ニ判任官以下ニシテ位勳ヲ有スル者

一、午後一時ヨリ同二時迄ニ參拜スベキ者

位勳ヲ有セザル判任官同待遇

服裝 正裝 大禮服

官房第一一六七號

當分ノ間左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ已ムヲ得

海軍公報 第二千二百二十三號 昭和九年三月十七日

二五七

ザル事山ニ依リ川務廳長ノ指定ニテ上級ノ座席又ハ船室ニ依リ旅行スルトキハ其ノ等級ノ運賃ヲ支給スルコトヲ得

一 海軍外國旅費規則ニ依ル旅費等級七等以下ノ者中

華民國内ヲ隊伍旅行ヲ爲ストキ

二 軍人軍屬傷病者ノ附添看護ノ爲旅行ヲ爲ストキ

昭和九年三月十七日

海軍大臣

○辭令

故元海軍三等兵曹小野正平父

小野八右衛門

(通各) 故海軍三等機關兵曹渡部一雄父

渡部 喜市

昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金壹千圓ヲ給與ス

昭和七年海軍省告示第二號ニ依リ特ニ金六百圓ヲ賜フ

1791

~~1796~~

○ 雜 款

○ 旗艦變更
第一航空戰隊司令官ハ一昨十五日旗艦ヲ龍驤ヨリ赤城ニ變更セリ

○ 驅逐艦浦風行動豫定
地名 着
上 海 三月十六日
横 須 賀 三月十九日

○ 郵便物發送先
驅逐艦浦風宛
自 今 横 須 賀

○ 移轉
海軍通信學校ハ明後十九日木部ヲ横須賀市田浦（現敷地南隣元軍需部倉庫跡）新廳舎ニ移轉ス

○ 改姓
海軍屬齊藤 汾ハ相澤ト改姓ノ旨本月十五届出デタリ

故海軍一等機關兵曹若熊 鼎妻 若熊 ッケ
昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金七百五十圓ヲ給與ス
昭和七年海軍省告示第二號ニ依リ特ニ金七百五十圓ヲ賜フ

故海軍三等兵曹平野盛吉母 平野 ケツ
（通 各）
故海軍三等看護兵曹西村西造父 西村福右エ門
昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金六百五十圓ヲ給與ス
昭和七年海軍省告示第二號ニ依リ特ニ金五百五十圓ヲ賜フ

故元海軍一等軍樂兵田上又男父 田上 永次郎
昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金六百圓ヲ給與ス
昭和七年海軍省告示第二號ニ依リ特ニ金五百圓ヲ賜フ（以上 海軍省）

生田目 章
事變關係事務ヲ囑託ス
但シ報酬月額六拾圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待遇セラル

第三課附ヲ命ス（海軍省經理局）

1792 6997

○艦船所在

△印ハハホシノ
指定ヲ要セズ

○三月十七日午前十時調

【横須賀】

日進△、山城△、鳳翔、八雲、北上、伊勢、
比叡△、春日、駒橋
檣、△天霧、朝霧、夕霧、朧
掃二、掃四

富士△、尻矢、膠州、大和、洲埼、青島、
野島

【長浦】

嚴島
(大鯨)

△島風、汐風、灘風、夕風、△潮、曙
呂三〇、呂二一、呂二二、△呂五五、
呂五四、呂五六、△呂五九、呂五七、
呂五八、△伊二三、伊二四

△掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】

(初霜)
△神風、沼風、野風、波風

【大湊】

大泊
長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、
韓崎、加古

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、
△芙蓉、刈萱、朝顔、△敷波、浦波、綾波、

△東雲、磯波、吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、
呂五三、△呂二八、呂二七、△呂六一、
呂六〇、呂六二、△伊二二、伊二三、
伊五二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇
石廊、攝津、襟裳△、室戸
(伊六八)、(最上)

【和歌浦】

△金剛、霧島、△扶桑、日向、△長良、名取、
五十鈴、△川内、△長鯨

△松風、春風、旗風、朝風、△菊月、望月、
三日月、夕月、△疾風、追風、朝風、夕風、
△陸月、卯月、如月、彌生
△伊三、伊一、伊二、△伊五、伊四
鶴見、間宮

【大阪】

(初雁)、(掃一五)

【神戸】

△伊五三、伊五四、伊五五
(伊六九)

【白杵灣】

勝力、白鷺
△掃一三、掃一四

【佐伯】

△鳥海、高雄、愛宕、摩耶、△青葉、衣笠、
古鷹、△那珂、△山良、迅鯨、大井
△電、雷、響、△曉、狹霧、漣、△深雪、
△伊五七、伊五六、伊五八、△伊六一、

伊六二、伊六四、伊六六、伊六五、伊六七
 鳴戸、神威
 【舞鶴】 吾妻、多摩
 伊夕顔、葵、菊
 呂二六
 【佐世保】 夕張、加賀、足柄、羽黒、鬼怒、八重山、常磐、龍田
 梨、竹、樵、櫻、柳、桃、楡、水無月、皐月、文月、長月、日子日、初春
 呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、呂六八、呂六三、呂六四、呂二九、呂三〇、呂三二、呂六五、呂六六、呂六七、伊六〇、伊五九、伊六三
 千鳥、友鶴
 敷島、早瀬、能登呂、知床、朝日
 【長崎】 那智、妙高
 【有明灣】 赤城、龍驤
 沖風、峯風、矢風、澤風
 【馬公】 太刀風、帆風、秋風、羽風
 【鎮海】 蓬、蓮、蓼
 【渤海作樂地】 藤、蕙、薄、萩
 【大沽沖】 淀
 【青島】 天龍
 【上海】 安宅

【南京】 勢多
 【蕪湖】 鳥羽
 【九江】 保津
 【漢口】 對馬、比良、熱海
 【長沙】 隅田
 【重慶】 二見
 【汕頭】 董、葦
 【廣東】 嵯峨
 【タラカン】 佐多
 【航海中】
 堅田 (八日宜昌發―上海へ)
 淺間、磐手 (十二日新嘉坡發―亞丁へ)
 眞鶴 (十二日佐世保發―港外へ)
 球磨 (十五日「マカッサル」發―「タラカン」へ)
 隱戸 (十五日吳發―「タラカン」へ)
 神通 (十六日吳發―佐伯灣へ)
 伏見 (十六日長沙發―上海へ)
 出雲、菱 (十六日廈門發―汕頭へ)
 浦風 (十六日上海發―横須賀へ)
 母 (十六日佐世保發―上海へ)
 木曾 (十七日横須賀發―東京灣へ)
 宇治 (十七日宜昌發―沙市へ)
 吳竹、若竹、早苗 (十七日吳發―佐伯へ)

(部内限一頁、同號外二頁)

1794 0299

海軍公報

第二千二百二十四號

昭和九年三月十九日(月)

海軍大臣官房

○辭令

岩崎 邦雄
海軍燃料廠探炭部醫療業務囑託ヲ解ク(請海軍省)

岡崎 平一

海軍燃料廠探炭部ニ於ケル醫療業務ヲ囑託ス
但シ報酬年額千八百圓ヲ給シ部内限奉任官待遇ト
ス(七切同)

○雜款

○廣瀬中佐外旅順閉塞隊殉難諸士三十周年慰靈祭典執行

來三月二十七日午前十時萬世橋驛頭廣瀬中佐銅像前
ニ於テ水交社主催ノ首題祭典執行セラル
參拜時刻 自午前十時至同十一時
服 裝 軍裝帶勳一個
(海軍省 副官)

○軍艦大井行動豫定中變更(三月十三日)

地名	着	發
福岡	三月十九日	三月二十二日
長府	二十二日	二十二日
安下庄	二十二日	二十五日

○郵便物發送先中變更(三月十三日)

軍艦大井宛
三月二十一日迄ニ到達見込ノモノハ 福岡
同 二十四日迄ニ 同 安下庄

○電話番號變更

水路部長 海軍少將 小野彌一宅(蒲田區御園町三〇五)
蒲田 三六四七番

豫備役海軍少將從四位勳三等功五級平岩元雄本月
十五日卒去、一昨十七日午後二時ヨリ同三時迄神
奈川縣藤澤町鶴沼七三四五自宅ニ於テ佛式ニ依リ
告別式執行

1795 0300

○艦船所在

指[▲]印[△]ハ[○]ハ[○]セ[△]メ[△]

○三月十九日午前十時調

【横須賀】日進▲、山城▲、鳳翔、八雲、北上、伊勢、

比叡▲、駒橋

檣、□天霧、朝霧、夕霧、朧

掃二、掃四

富士▲、尻矢、膠州、大和、洲埼、青島

(大鯨)

【長浦】

嚴島

□島風、汐風、灘風、夕風、□潮、曙

呂二〇、呂二一、呂二二、□呂五五、

呂五四、呂五六、□呂五九、呂五七、

呂五八、□伊二三、伊二四

□掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】

(初霜)

【館山】

樺

【大湊】□神風、沼風、野風、波風

大泊

【吳】長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、

韓崎、加古

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

□芙蓉、刈萱、朝顔、□敷波、浦波、綾波、

□東雲、磯波、吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、
呂五三、□呂二八、呂二七、□呂六一、
呂六〇、呂六二、□伊二二、伊二二、
□伊五二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇、□掃一三、
掃一四

石廊、攝津、襟裳▲、室戸

(伊六八)、(最上)

【和歌浦】□金剛、霧島、▽扶桑、日向、▽長良、名取、

五十鈴、▽川内、▽長鯨

□松風、春風、旗風、朝風、□菊月、望月、

三日月、夕月、□疾風、追風、朝風、夕風、

□睦月、卯月、如月、彌生

□伊三、伊一、伊二、□伊五、伊四

鶴見、間宮

【大阪】(初雁)、(掃一五)

【神戸】□伊五三、伊五四、伊五五

(伊六九)

【佐伯】□鳥海、高雄、愛宕、摩耶、▽青葉、衣笠、

古鷹、▽那珂

□電、雷、響、□曉、狹霧、漣、□深雪、

白雪、初雪、□白雲、叢雲、薄雲

鳴戸、神威

【舞鶴】吾妻▲、多摩

□夕顔、葵、菊

【佐世保】

呂二六

夕張、加賀▲、足柄、羽黒、鬼怒、八重山、梨、竹、樫、□檜、柳、桃、檜、□水無月、皐月、文月、長月

呂二三、

呂二四、

呂二五、

呂三一、

呂六八、

呂六三、

呂六四、

呂二九、

呂三〇、

呂三一、

呂六五、

呂六六、

呂六七、

伊六〇、

伊五九、

伊六三

千鳥、真鶴、友鶴

敷島▲、早鞆、能登呂▲、知床

(若葉)

那智、妙高

赤城、龍驤

沖風、峯風、矢風、澤風

馬公、□太刀風、帆風、秋風、羽風

鎮海、□蓬、蓮、蓼

旅順、淀

渤海作業地、□藤、葛、薄、萩

青島、天龍

上海、□安宅

南、勢多

燕、鳥羽

九、保津

【漢口】

對馬、比良、熱海

【長沙】

隅田

【沙市】

宇治

【重慶】

二見

【廣東】

嵯峨

【航海中】

堅田 (八日宜昌發—上海へ)

淺間、磐手 (十二日新嘉坡發—亞丁へ)

隱戸 (十五日吳發—「タラカン」へ)

伏見 (十六日長沙發—上海へ)

球磨 (十七日「タラカン」發—「メナド」へ)

野島 (十七日橫須賀發—大湊へ)

出雲、□董、葦、菱 (十八日浦頭發—香港へ)

佐多 (十八日「タラカン」發—徳山へ)

朝日 (十八日佐世保發—吳へ)

神通、□吳竹、若竹、早苗 (十九日佐伯發—日出へ)

山良、迅鯨、□伊五七、伊五六、伊五八、□伊六一、伊六二、伊六四、□伊六六、伊六五、伊六七 (十九日佐伯發—吳へ)

勝利、白鷹 (十九日佐伯發—豊後水道へ)

大井 (十九日萩發—福岡へ)

常磐、□龍田、□子日、初春 (十九日佐世保發—港外へ)

木曾 (十九日橫須賀發—東京灣外へ)

春日 (十九日橫須賀發—東京灣へ)

浦風 (十九日館山發—橫須賀へ)

(部内限一頁)

1797 0302

海軍公報

第二千二百二十五號

海軍大臣官房

昭和九年三月二十日(火)

○通牒

官房第一二六九號ノ三

昭和九年三月二十日

海軍省 副官

各廳長殿

侍從武官被差遣ノ件通牒

今般横須賀、吳、佐世保各海軍病院ニ於テ高等科看護
術練習生卒業式舉行ニ付侍從武官小林謙五ヲ被差遣候
趣侍從武官長ヨリ通牒有之候

○辭令

小泉 幸次郎

海軍省軍務局事務ヲ囑託ス

但シ報酬月額五拾五圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ

待遇セラル(海軍省軍務局)

第五部附ヲ命ス

在八幡首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

同 山田 正元

自今在神戸首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上
海軍艦政本部)

海軍技師 織田 久八

○雜款

○驅逐艦進水

佐世保海軍工廠ニ於テ建造ノ驅逐艦若葉一昨十八日午
前九時四十五分進水セリ

○軍艦駒橋行動豫定變更(三月二十四日
本欄参照)

地名 着

發

横須賀

三月十九日

横須賀

三月三十日

海軍公報 第二千二百二十五號 昭和九年三月二十日

二六五

1798 0303

○特務艦知床行動豫定變更(二月十七日)

地名 着

發

佐世保

三月十七日

三月十四日

旅順

二十三日

○出發

歐米各
國出張

海軍機關少佐 臺山男

三月二十二日 神戸發 箱根丸

1799 0394

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○三月二十日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、鳳翔、八雲、北上、伊勢、比叡▲

檣、区天霧、朝霧、夕霧、龍、浦風

掃二、掃四

富士▲、尻矢、膠州、大和、洲崎、青島

(大鯨)

【長浦】

殿島

区島風、汐風、灘風、夕風、区潮、曙

呂二〇、呂二一、呂二二、区呂五五、呂五四、呂五六、区呂五九、呂五七、呂五八、区伊二三、伊二四

区掃六、掃五

【浦賀】(初霜)

【館山】

区神風、沼風、野風、波風

大泊、野島

【吳】 長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、韓崎、加古、区由良、迅鯨

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、区芙蓉、刈萱、朝顔、区敷波、浦波、綾波、区東雲、磯波、吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、区呂二八、呂二七、区呂六一、呂六〇、呂六二、区伊二一、伊二二、区伊五二、伊五一、区伊五七、伊五六、伊五八、区伊六一、伊六二、伊六四、区伊六六、伊六五、伊六七

掃七、掃八、掃九、掃一〇、区掃一三、掃一四

石廊、攝津、朝日、室戸

(伊六八)、(最上)

【和歌浦】区金剛、霧島、区扶桑、日向、区長良、名取、五十鈴、区川内、区長鯨

区松風、春風、旗風、朝風、区菊月、望月、三日月、夕月、区疾風、追風、朝風、夕風、区睦月、卯月、如月、彌生

区伊三、伊一、伊二、区伊五、伊四

鶴見、間宮

【大阪】(初雁)、(掃一五)

【神戸】区伊五三、伊五四、伊五五 (伊六九)

【日出】区神通

区吳竹、若竹、早苗

【舞鶴】区吾妻▲、多摩

区夕顔、葵、菊

呂二六

1800 0295

【佐世保】

夕張、加賀▲、足柄、羽黒、鬼怒、八重山、梨、竹、樞、▽檜、柳、桃、楡、▽水無月、皐月、文月、長月

▽呂三、▽呂二四、▽呂二五、▽呂三一、▽呂六八、▽呂六三、▽呂六四、▽呂二九、▽呂三〇、▽呂三一、▽呂六五、▽呂六六、▽呂六七、▽伊六〇、伊五九、伊六三

▽千鳥、眞鶴、友鶴

敷島▲、早鞆、能登呂▲、知床

(若葉)

【福岡】 大井

【長崎】 那智、妙高

【有明灣】 ▽赤城、龍驤

▽沖風、峯風、矢風、澤風

【馬公】 ▽太刀風、帆風、秋風、羽風

【鎮海】 ▽蓬、蓮、蓼

【旅順】 淀

【渤海作業地】 ▽藤、葛、薄、萩

【青島】 天龍

【上海】 ▽安宅

▽栗、柿、楡、梅

【南京】 勢多

【燕湖】 鳥羽

【九江】 保津

【漢口】 對馬、比良、熱海

【長沙】

隅田

【沙市】

宇治

【重慶】

二見

【香港】

▽出雲、▽董、葦、菱

【廣東】

球磨

【メナド】

駒橋

【作業地】

駒橋

【航海中】

堅田 (八日宜昌發—上海へ)
淺間、磐手 (十二日新嘉坡發—亞丁へ)
隱戸 (十五日吳發—「タラカン」へ)
伏見 (十六日長沙發—上海へ)
佐多 (十八日「タラカン」發—徳山へ)
勝力、白鷺 (十九日佐伯發—豊後水道へ)
常磐、▽龍田、▽子日、初春 (十九日佐世保發—港外へ)

▽鳥海、高雄、愛宕、摩耶、▽青葉、衣笠、古鷹、▽那珂、▽電、雷、響、▽曉、狹霧、漣、▽深雪、白雪、初雪、▽白雲、叢雲、薄雲、鳴戸、神威 (十九日佐伯發—吳へ)

掃一、掃三 (十九日長浦發—東京灣へ)

襟裳 (十九日吳發—「タラカン」へ)

▽木曾、春日 (二十日横須賀發—東京灣へ)

(部内限二頁、同附録六頁)

1801 2396

海軍公報

第二千二百二十六號

海軍大臣官房

昭和九年三月二十二日(木)

○通牒

艦本第三〇五號

昭和九年三月二十日

海軍艦政本部長

關係各廳長殿

時「ロール」廢棄ニ關スル件通知

日本製鐵株式會社八幡製鐵所ニ於テ左記時「ロール」廢棄竝ニ米突化寸法ノ件在八幡首席監督官ヨリ通知有之候

記

廢棄「ロール」寸法

米突化寸法

(A) 工型鋼	四時×三時 六時×三時 六時×五時	一〇〇耗×七五耗 一五〇耗×七五耗 一五〇耗×一二五耗
(A) 溝型鋼	五時×二時半	一二五耗×六五耗

(B) 平鋼	五時、六時共通 六時×四時半 五時×四時半
(B) 工型鋼	八時×三時半 七時×四時 六時×三時半 六時×四時半 六時×三時半 六時×三時半 五時×三時半 四時×三時半

(B) 山型鋼

八時×三時半	七時×四時	六時×三時半	六時×四時半	六時×三時半	六時×三時半	五時×三時半	四時×三時半
--------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

(B) 球鋼板

九時	八時	七時	六時
----	----	----	----

(A) 八時「ロール」米突化ノ爲今後ノ註文ハ米突化寸法ニ依ルコト寸法ノモノハ廢棄ス

海軍公報 第二千二百二十六號 昭和九年三月二十二日

二六九

1802 0307

(B)ハ近年註文ナキノミナラズ日本標準規格ニモナキラ
以テ全部廢棄ス

○ 雜 款

○特務艦知床行動豫定

地名 着

發

佐世保

德山

横須賀

吳須賀

横須賀

吳須賀

横須賀

吳須賀

佐世保

四月五日

四月十二日

四月二十一日

五月二十六日

五月四日

五月九日

五月十四日

五月十九日

四月四日

四月十日

四月十九日

五月二十四日

五月六日

五月十二日

五月十七日

1803 ~~0303~~

○艦船所在

指[△]印^ハハ^ホヲ^セ要^メ

○三月二十二日午前十時調

【横須賀】

日進[△]山城[△]鳳翔、八雲、北上、伊勢、比叡[△]殿島

楨、[□]天霧、朝霧、夕霧、朧、浦風、掃二、掃四

富士[△]、尻矢、膠州、大和、洲崎、青島

(大鯨)

【長浦】

[□]島風、汐風、灘風、[□]潮、曙

呂二〇、呂二一、呂二二、[□]呂五五、呂五四、呂五六、[□]呂五九、呂五七、呂五八、[□]伊二三、伊二四

[□]掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】

【館山】

【八丈島】

【天湊】

【吳】

【大泊】

【野島】

【長門】

【檀名】

【陸奥】

【矢矧】

【平戸】

【阿武隈】

【韓崎】

【加古】

【神通】

【鳥海】

【高雄】

【愛宕】

【摩耶】

【青葉】

【衣笠】

古鷹、[□]那珂、[□]由良、迅鯨

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

[□]芙蓉、刈萱、朝顔、[□]敷波、浦波、綾波、[□]東雲、磯波、吹雪、[□]吳竹、若竹、早苗、[□]雷、響、[□]曉、狹霧、漣、[□]深雪、[□]白雪、初雪、[□]白雲、叢雲、薄雲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、[□]呂二八、呂二七、[□]呂六一、呂六〇、呂六二、[□]伊二一、伊二二、[□]伊五二、伊五一、[□]伊五七、伊五六、[□]伊五八、[□]伊六一、伊六二、伊六四、[□]伊六六、伊六五、伊六七

掃七、掃八、掃九、掃一〇、[□]掃一三、掃一四

石廊、攝津、朝日、室戸、鳴戸、神威

(伊六八)、(最上)

【和歌浦】[□]金剛、霧島、[□]扶桑、日向、[□]長良、名取、五十鈴、[□]川内、[□]長鯨

[□]松風、春風、旗風、朝風、[□]菊月、望月、三日月、夕月、[□]疾風、追風、朝風、夕風、[□]陸月、卯月、如月、彌生

[□]伊三、伊一、伊二、[□]伊五、伊四

鶴見、間宮

【大阪】(初雁)、(掃一五)

【神戸】[□]伊五三、伊五四、伊五五

(伊六九)

【舞鶴】吾妻[△]、多摩

呂夕顔、葵、菊

呂二六

【佐世保】

夕張、加賀、足柄、羽黒、鬼怒、八重山、常磐、龍田

梨、竹、樵、柳、桃、檜、水無月、

皐月、文月、長月、日子日、初春

呂二二、呂二四、呂二五、呂三一、

呂六八、呂六三、呂六四、呂二九、

呂三〇、呂三二、呂六五、呂六六、

呂六七、伊六〇、伊五九、伊六三

千島、真鶴、友鶴

敷島、早稲、能登呂

(若葉)

【長崎】

那智、妙高

【有明灣】

赤城、龍驤

【馬公】

沖風、峯風、矢風、澤風

【鎮海】

蓬、蓮、蓼

【旅順】

淀

【渤海作業地】

藤、葛、薄、菘

【青島】

天龍

【上海】

安宅、堅田

【南京】

勢多

【燕湖】

鳥羽

【九江】

保津

【漢口】 對馬、比良、熱海

【長沙】 隅田

【沙市】 宇治

【重慶】 二見

【香港】 出雲

葦、葦、菱

【廣東】 嵯峨

【作業地】 駒橋

【航海中】

淺間、磐手 (二十二日新嘉坡發—亞丁へ)

隱戸 (十五日吳發—タラカンへ)

伏見 (十六日長沙發—上海へ)

佐多 (十八日「タラカン」發—徳山へ)

襟裳 (十九日吳發—「タラカン」へ)

栗、柿、檜、梅 (二十日上海發—馬公へ)

球磨 (二十一日「メナド」發—「サイボアング」へ)

知床 (二十一日旅順發—佐世保へ)

大井 (二十二日福岡發—長府へ)

木曾、春日 (二十二日横須賀發—東京灣へ)

勝力、白鷹 (二十二日亀川發—吳へ)

(部内限五頁)

1805 0310

海軍公報

第二千二百二十七號

昭和九年三月二十三日(金)

海軍大臣官房

○通牒

教育第五號ノ五

昭和九年三月二十二日

海軍省教育局

海軍各廳御中

圖書費頒布ノ件通知

一、日本水軍史 海軍大尉 山屋太郎著

(軍事教育圖書トシテ既ニ各部ニ配付ノモノ)

當局發行ノ右圖書部内要望者多數有之候タメ今般増刷シ實費ヲ以テ頒布可致候條要望ノ向ハ左記御承知ノ上御申込相成度

記

一、製本體裁 四六判二百頁厚色紙表紙假綴

二、實費 金六拾錢

三、送料 金六錢

四、申込 各廳毎ニ部數取纏メ官氏名ト共ニ

五、送

金

當局宛通知ノコト

代金ハ東京市小石川區音羽町二ノ

一四會社又文館(振替口座東京五一九五

三番ニ前金送金ノコト

六、申込締切期日

昭和九年四月三十日

七、配

本 昭和九年五月十五日

○雜款

○旗艦變更

第三艦隊司令長官ハ昨二十二日旗艦ヲ一時出雲ヨリ董ニ變更セリ

○司令驅逐艦變更

第三驅逐隊司令ハ本月二十日司令驅逐艦ヲ一時島風ヨリ夕風ニ、第二十四驅逐隊司令ハ一昨二十一日司令驅逐艦ヲ樫ヨリ柳ニ孰モ變更セリ

○通信

昭和九年三月十五日ヨリ無線方位測定規則第四條ニ依

海軍公報 第二千二百二十七號 昭和九年三月二十三日

二七三

1806 0311

無線羅針局中「同野島崎無線方位信號所（無線羅針局）」ノ項ノ次ニ左ノ追加ス

名稱	呼出符號	位置	電波ノ型式及周波數	聽守用	測定用	通知用	通常方位測定區域	備考
同大島無線方位信號所 (無線羅針局)	J L I	北緯 三四度四七分四五秒 東經 一三九度二二分四三秒		同	同	同	二一〇度ヨリ一一〇度迄二六〇度間但シ右ノ内二六〇度ヨリ二九〇度迄及四〇度ヨリ八〇度迄ハ方位不正確ナルコトアルベシ 距離書間一八五浬	同
同福山無線方位信號所 (無線羅針局)	J L K	北緯 四一度二五分一八秒 東經 一四〇度五分二〇秒		同	同	同	一一〇度ヨリ二八〇度迄二七〇度間 距離書間一八五浬	同

<p>(二月二日海軍公報號外及三月十四日官報三八二頁參照)</p> <p>(海軍省軍務局)</p>		<p>○郵便物發送先變更 (二月二十日參照)</p> <p>特務艦洲崎宛</p> <p>三月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀</p> <p>同 三十日迄ニ 同 德山</p> <p>同 四月一日迄ニ 同 廣山</p> <p>同 五日迄ニ 同 德山</p> <p>其ノ後ハ 横須賀</p>	
<p>○特務艦洲崎行動豫定變更 (二月二十日參照)</p> <p>地名 着 發</p> <p>横須賀 三月二十九日 三月二十六日</p> <p>德山 三月三十一日 三月三十一日</p> <p>廣山 四月一日 四月二日</p> <p>德山 四月三日 四月六日</p> <p>横須賀 四月九日</p>		<p>○英國巡洋艦「ベリック」來航豫定</p> <p>地名 着 發</p> <p>長崎 四月十二日 四月十六日</p> <p>別府 四月十七日 四月二十日</p>	

1307 0212

神戶	二十一日	三十日
宮島	五月一日	五月五日
江田島	五日	六日

○學校開設
海軍航海學校（所在地横須賀市田浦町田ノ浦）ハ四月一日ヨリ開校ノ豫定

○來四月一日海軍航海學校開設ノ豫定ニ付現在運用術練習艦春日宛ノ書類ハ同日以降海軍航海學校へ御送付相成度

（運用術練習艦）

後備役海軍軍醫大佐正五位勳三等精谷利三郎昨二十一日卒去、明二十四日午後一時ヨリ同二時迄東京市牛込區早稻田鶴卷町三七一自宅ニ於テ告別式執行

○正誤

一月十七日附録諸外國祝日表（昭和九年）中十月十六日アフガニスタン國皇帝ザヒール、シャー陛下誕辰ハ十月十五日ノ誤ニ付訂正ス

海軍公報 第二千二百二十七號 昭和九年三月二十三日

二七五

1808 0313

○艦船所在 指定ヲ要セズ

○三月二十三日午前十時調

【横須賀】日進、山城、鳳翔、八雲、北上、伊勢、

比叡、殿島、▷木曾

楨、▷天霧、朝霧、夕霧、隴、浦風

掃二、掃四

富士、尻矢、大和、洲崎、青島

(大鯨)

【長浦】島風、汐風、灘風、▷潮、曙

呂二〇、呂二一、呂二二、▷呂五五、

呂五四、呂五六、▷呂五九、呂五七、

呂五八

▷掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】(初霜)

【館山】棒

【青森】野島

【函館】▷神風、野風、波風

【吳】長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、

韓崎、加古、勝力、白鷹、▷神通、▷島海、

高雄、愛宕、摩耶、▷青葉、衣笠、古鷹、

▷那珂、▷由良、迅鯨

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

▷芙蓉、刈萱、朝顔、▷敷波、浦波、綾波、

▷東雲、磯波、吹雪、▷吳竹、若竹、早苗、

▷電、雷、響、▷曉、狹霧、漣、▷深雪、

白雪、初雪、▷白雲、叢雲、薄雲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、▷呂二八、呂二七、▷呂六一、

呂六〇、▷呂六二、▷伊二一、伊二二、

▷伊五二、伊五一、▷伊五七、伊五六、

▷伊五八、▷伊六一、伊六二、伊六四、

▷伊六六、伊六五、伊六七

掃七、掃八、掃九、掃一〇、▷掃一三、

掃一四

石廊、攝津、朝日、室戸、鳴戸、神威

(伊六八)、(最上)

【和歌浦】▷金剛、霧島、▷扶桑、日向、▷長良、名取、

五十鈴、▷川内、▷長鯨

▷松風、春風、旗風、朝風、▷菊月、望月、

▷三月月、夕月、▷疾風、追風、朝風、夕風、

▷陸月、卯月、如月、彌生

▷伊三、伊一、伊二、▷伊五、伊四

鶴見、問宮

【大阪】(初雁)、(掃一五)

【神戸】▷伊五三、伊五四、伊五五

(伊六九)

【安下庄】大井

【舞鶴】吾妻、多摩

海軍公報 第二千二百二十七號 昭和九年三月二十三日

二七七

呂夕顔、葵、菊

【佐世保】 夕張、加賀、足柄、羽黒、鬼怒、八重山、常磐、▽龍田
梨、竹、榊、▽柳、桃、楡、櫻、▽水無月、
皐月、文月、長月、▽子日、初春

呂二六
呂二三、 呂二四、 呂二五、 呂三一、
呂六八、 呂六三、 呂六四、 呂二九、
呂三〇、 呂三二、 呂六五、 呂六六、
呂六七、 伊六〇、 伊五九、 伊六三

▽千鳥、真鶴、友鶴
敷島、早瀬、能登呂

(若葉)

【長崎】 那智、妙高

【右明灣】 赤城、龍驤

▽沖風、峯風、矢風、澤風

【馬公】 太刀風、帆風、秋風、羽風、▽栗、柿、
楡、梅

【旅順】 淀

【青島】 天龍

【上海】 安宅、堅田

【燕湖】 鳥羽

【九江】 保津

【漢口】 對馬、比良、熱海

【長沙】 隅田

【重慶】 二見

【香港】 出雲

【廣東】 嵯峨

▽董、葦、菱

【サングリア】 球磨

【作業地】 駒橋

【航海中】

▽淺間、磐手 (十二日新嘉坡發—亞丁へ)
隱戸 (十五日吳發—「タラカン」へ)

伏見 (十六日長沙發—上海へ)

佐多 (十八日「タラカン」發—徳山へ)

襟裳 (十九日吳發—「タラカン」へ)

知床 (二十一日旅順發—佐世保へ)

大泊 (二十二日大湊發—函館へ)

膠州 (二十二日横須賀發—東京灣外へ)

春日 (二十三日横須賀發—東京灣へ)

宇治 (二十三日沙市發—宜昌へ)

勢多 (二十三日蕪湖發—南京へ)

▽藤、蕪、薄、萩 (二十三日渤海作業地發—旅順へ)

▽蓬、蓮、蓼 (二十三日鎮海發—竹敷へ)

沼風 (二十三日青森發—函館へ)

▽夕風 (二十三日八丈島發—横須賀へ)

▽伊二三、伊二四 (二十三日長浦發—相模灘へ)

(部内限二頁)

海軍公報

第二千二百二十八號

昭和九年三月二十四日(主)

海軍大臣官房

○雜款

○郵便物發送先

特務艦知床宛

四月三	日迄ニ到達見込ノモノハ	佐世保
同九	日迄ニ同	徳山
同十八	日迄ニ同	横須賀
同二十三	日迄ニ同	吳須賀
五月一	日迄ニ同	横須賀
同五	日迄ニ同	吳須賀
同十一	日迄ニ同	横須賀
同十六	日迄ニ同	吳須賀
其ノ後ハ		佐世保

○電話架設

軍令部第二部長 海軍少將 古賀峯一宅

青山 六九五四番

○滞在地變更

休職海軍大尉佐藤重吉ハ佐世保ヨリ横須賀へ滞在地變更ノ儀本二十四日認許セラレタリ

海軍公報 第二千二百二十八號

昭和九年三月二十四日

二七九

1811

~~0316~~

○艦船所在

△印ハニハホレ
指定ヲ要セズ

○三月二十四日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、鳳翔、八雲、北上、伊勢、
比叡、嚴島、春日、木曾
楨、天霧、朝霧、夕霧、朧、浦風
掃二、掃四
富士、尻矢、大和、洲崎、青島
(大鯨)

【長浦】

夕風、島風、汐風、灘風、潮、曙
呂二〇、呂二一、呂二二、呂五五、
呂五四、呂五六、呂五九、呂五七、
呂五八
掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】

(初霜)

【館山】

椿

【大湊】

野島

【函館】

神風、野風、波風、沼風
大泊

【吳】

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、
韓崎、加古、勝力、白鷹、神通、鳥海、
高雄、愛宕、摩耶、青葉、衣笠、古鷹、
那珂、山良、迅鯨

【安下庄】

大井

芙蓉、刈萱、朝顔、敷波、浦波、綾波、
東雲、磯波、吹雪、吳竹、若竹、早苗、
雷、響、曉、狹霧、漣、深雪、
白雪、初雪、白雲、叢雲、薄雲
呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、
呂五三、呂二八、呂二七、呂六一、
呂六〇、呂六二、伊二一、伊二二、
伊五二、伊五一、伊五七、伊五六、
伊五八、伊六一、伊六二、伊六四、
伊六六、伊六五、伊六七
掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三、
掃一四

石廊、攝津、朝日、室戸、鳴戸、神威
(伊六八)、(最上)

【和歌浦】

金剛、霧島、扶桑、日向、長良、名取、
五十鈴、川内、長鯨
松風、春風、旗風、朝風、菊月、望月、
三月月、夕月、疾風、追風、朝風、夕風、
睦月、卯月、如月、彌生
伊三、伊一、伊二、伊五、伊四
鶴見、問宮

【大阪】

(初雁)、(掃一五)

【神戸】

伊五三、伊五四、伊五五
(伊六九)

1812 0317

【舞鶴】吾妻、多摩

呂夕顔、葵、菊

呂二六

【佐世保】

夕張、加賀、足柄、羽黒、鬼怒、八重山、常磐、龍田

梨、竹、榎、柳、桃、桜、水無月、皐月、文月、長月、日子日、初春

呂二二、呂二四、呂二五、呂三一、呂六八、呂六三、呂六四、呂二九、呂三〇、呂三一、呂六五、呂六六、呂六七、伊六〇、伊五九、伊六三

千鳥、真鶴、友鶴

敷島、早稲、能登呂、知床

(若葉)

【長崎】那智、妙高

【有明灣】赤城、龍驤

【馬公】沖風、峯風、矢風、澤風

【馬公】太刀風、帆風、秋風、羽風、栗、柿、楡、梅

【竹敷】蓬、蓼

【旅順】淀

【青島】藤、葛、薄、萩

【上海】天龍

【南京】安宅、堅田

【南京】勢多

【九江】保津

【漢口】對馬、比良、熱海

【長沙】隅田

【宜昌】宇治

【重慶】二見

【香港】出雲

【廣東】嵯峨

【作樂地】藪、葦、菱

【航海中】駒橋

【淺間】磐手 (十二日新嘉坡發—亞丁へ)

隱戸 (十五日吳發—「タラカン」へ)

伏見 (十六日長沙發—上海へ)

佐多 (十八日「タラカン」發—徳山へ)

襟裳 (十九日吳發—「タラカン」へ)

膠州 (二十二日横須賀發—東京灣外へ)

鳥羽 (二十三日蕪湖發—漢口へ)

球磨 (二十三日「サンボアング」發—イロイロへ)

伊二三、伊二四 (二十三日長浦發—相模灘へ)

(部内限二頁)

1813 0918

海軍公報

第二千二百二十九號

昭和九年三月二十六日(月)

海軍大臣官房

○通牒

經物第五一號

海軍契約規程施行手續中左ノ通改正ス

昭和九年三月二十四日

海軍省經理局長

第八號書式甲、乙、丙中「一、契約擔任官 職氏名」ヲ削ル

(會計法規類集下卷三三〇ノ一九頁參照)

○辭令

計畫助手 小出 文之進

同 滿木 源吾

同 齋藤 次郎

同 脇山 義夫

(各通)

同 後藤 英次

同 小管 豊治

同 岡積 共幸

同 宗近 眞澄

同 服部 眞一

同 部内限判任官ヲ以テ待遇セラル(海軍艦政本部)

海軍少佐 町田 秀實

在東京首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(出張地方

太田)(海軍航空本部)

○雜款

○旗艦變更

第三艦隊司令長官ハ一昨二十四日旗艦ヲ薰ヨリ出雲ニ復歸セリ

○司令驅逐艦變更

第三驅逐隊司令ハ本月二十三日司令驅逐艦ヲ夕風ヨリ島風ニ變更セリ

海軍公報 第二千二百二十九號 昭和九年三月二十六日

二八三

1814 0919

○事務所撤去
第一號驅潛艇艦裝員事務所ヲ一昨二十四日限り撤去セ

○正誤
本月十七日本欄改姓中「十五」ハ「十五日」ノ誤

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○三月二十六日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、鳳翔、八雲、北上、伊勢、

比叡、嚴島、春日、木曾

檣、天霧、朝霧、夕霧、朧、浦風

掃二、掃四

富士、尻矢、大和、青島、膠州

(大鯨)

【長浦】

夕風、島風、汐風、灘風、潮、曙

呂三〇、呂二一、呂三二、呂五五、

呂五四、呂五六、呂五九、呂五七、

呂五八、伊二三、伊二四

掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】(初霜)

【串本】

【大湊】神風、野風、沼風

大泊

【吳】

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、

韓崎、加古、勝力、白鷹、大井、神通、

金剛、霧島、扶桑、日向、長良、名取、

五十鈴、川内、長鯨

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

芙蓉、刈萱、朝顔、敷波、浦波、綾波、

東雲、磯波、吹雪、吳竹、若竹、早苗、

松風、春風、旗風、朝風、菊月、望月、

三日月、夕月、疾風、追風、朝風、夕風、

陸月、卯月、如月、彌生

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二八、呂二七、呂六一、

呂六〇、呂六一、伊三二、伊三三、

伊五二、伊五一、伊三、伊一、伊二、

伊五、伊四、伊六一

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三、

掃一四

石廊、攝津、朝日、室戸、間宮

(伊六八)、(最上)

(初雁)、(掃一五)

【神戶】伊五三、伊五四、伊五五

(伊六九)

【舞鶴】吾妻、多摩

夕顔、葵、菊

呂二六

【佐世保】夕張、加賀、足柄、羽黒、鬼怒、八重山、

常磐

梨、竹、樵、柳、桃、梅、櫻、水無月、

阜月、文月、長月、子日、初春

呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、

呂二九、呂三〇、呂三一、呂六五、

海軍公報

第二千百三十號

昭和九年三月二十七日(火)

海軍大臣官房

○令達

官房第一二七五號

被服糧食品電報略語別冊ノ通定メ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

但シ別冊ハ海軍省軍需局長ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和九年三月二十六日

海軍大臣

○通牒

官房第一二九四號ノ二

昭和九年三月二十七日

海軍省副官

關係諸官殿

函館市火災義捐金ニ關スル件通牒

函館市大火罹災者救恤ノ爲左記要綱ニ依リ有志ノ義捐

金ヲ募集セラルルコトト相成候條可然御取計相成度

記

一、高等官ノ釀出額ハ凡ソ俸給月額百分ノ一トスルコト但シ釀出ハ隨意トス

二、高等官待遇者ハ前號ニ準ズルコト

三、判任官ニシテ特ニ隨意釀出スルモノハ之ヲ加フルコト

四、各部(成ルベク艦隊、鎮守府、要港部毎ニ取纏メ)ハ釀出豫想總額ヲ可成速ニ海軍省經理局員岩成

義三宛電報スルコト

五、釀金ハ各廳ニ於テ之ヲ取纏メ昭和九年四月末日迄

ニ海軍省經理局(振替貯金口座東京四七六〇二番)ニ拂込ムコト

拂込ノ際振替貯金拂込通知票ノ裏面通信文記載欄ニハ送金件名ノミヲ記入シ別ニ釀出者金額氏名表

(二通)ヲ作製シ海軍省經理局員岩成義三宛ニ送附ノコト

海軍公報 第二千百三十號 昭和九年三月二十七日

二八七

1818

0999

○ 辭令

水路部附海軍技手 名古屋 金吾

(各通)

同 同 能勢 孝教
同 同 小川 兼三郎

淀乗組ヲ命ス(三三六日)海軍省)

海軍機關中佐 村上 竹夫

第三部勤務ヲ命ス

主トシテ兼務應ニ於テ服務スヘシ(三三六日)海軍艦政本部)

○ 雜款

○ 敷設艇進水

株式會社播磨造船所ニ於テ建造ノ敷設艇那沙美ハ昨二
十六日午前八時無事進水セリ

○ 伊國軍艦「クワルト」來航豫定

地名	着	發
長崎	三月三十日	四月三日
宮島	四月四日	四月五日
神戶	四月七日	四月十四日
横濱	四月十六日	四月二十九日
松島	五月一日	五月五日

鹿兒島 七日 九日

○ 郵便物發送先

第二號驅潛艇宛

三月三十日迄ニ到達見込ノモノハ 東京石川島
其ノ後ハ 横須賀防備隊

○ 事務所設置

軍艦最上艦裝具事務所ヲ吳海軍工廠内ニ設置シ本月二
十日ヨリ事務ヲ開始セリ

○ 事務所撤去

第二號驅潛艇事務所ヲ東京石川島造船所内ニ設置中ノ
處一昨二十五日撤去セリ

豫備役海軍大尉正七位中島金三郎本月十九日死去、
同二十日佐賀縣藤津郡濱町四二九三自宅ニ於テ佛
式ニ依リ葬儀執行

○艦船所在

指▲印△ハカシフ
定ヲ要セズ

○三月二十七日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、鳳翔、八雲、北上、伊勢、

比叡▲、嚴島、▽木曾

檣、▽天霧、朝霧、夕霧、浦風

掃二、掃四

富士▲、尻矢、青島、膠州

(大鯨)

【長浦】

▽夕風、島風、汐風、灘風、▽潮、曙、朧

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五五、

呂五四、呂五六、▽呂五九、呂五七、

呂五八、▽伊二三、伊二四

【浦賀】

(初霜)

【串本】

▽神風、野風、沼風、波風

【大湊】

大泊

【吳】

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、

加古、勝力、白鷹、▽神通、▽金剛、霧島、

▽扶桑、日向、▽長良、名取、五十鈴、▽川内、

▽長鯨、▽赤城、龍驤

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

▽芙蓉、刈萱、朝顔、▽敷波、浦波、綾波、

▽東雲、磯波、吹雪、▽吳竹、若竹、早苗、

▽松風、春風、旗風、朝風▲、▽菊月、望月、

三日月、夕月、▽疾風、追風、朝風、夕風、

▽陸月、卯月、如月、彌生、▽沖風、峯風、

矢風、漂風

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、▽呂二八、呂二七、▽呂六一、

呂六〇、▽呂六一、▽伊三二、伊三三、

▽伊五二、伊五一、▽伊三三、伊一、伊二、

▽伊五、伊四、▽伊六一

掃七、掃八、掃九、掃一〇、▽掃一三▲

掃一四▲

石廊、攝津、朝日、室戸、間宮、鶴見

(伊六八)、(最上)

▽伊六八、(最上)

▽伊五三、伊五四、伊五五

(伊六九)

【藤生】

韓崎

▽鳥海、高雄、愛宕、摩耶、▽青葉、衣笠、

古鷹、▽那珂、▽由良、迅鯨

▽電、雷、響、▽曉、狹霧、漣、▽深雪、

▽白雪、初雪、▽白雲、叢雲、薄雲

▽伊五七、伊五六、伊五八、伊六二、

伊六四、▽伊六六、伊六五、伊六七

鳴戸、神威

▽吾妻▲、多摩

【夕顔、葵、菊】

呂二六

【佐世保】

夕張、加賀、足柄、羽黒、鬼怒、八重山、常磐、龍田

梨、竹、樵、柳、桃、檜、檜、水無月、

皐月、文月、長月、子日、初春

呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、

呂二九、呂三〇、呂三一、呂六五、

呂六六、呂六七、伊六〇、伊五九、

伊六三

千島、真鶴、友鶴

敷島、早鞆、知床

(若葉)

【寺島水道】呂六八、呂六三、呂六四

【長崎】那智、妙高

【阿久根】能登呂

【馬公】太刀風、帆風、秋風、羽風

【枋】出雲、葦、葦、菱、栗、柿、楡、楯

【莞島】蓬、蓼、蓮

【旅順】藤、葛、薄、萩

【青島】天龍

【上海】堅田、伏見

【南京】勢多

【漢口】對馬、比良、熱海、鳥羽

【長沙】

隅田

【宜昌】

宇治

【重慶】

二見

【廣東】

蟻峨

【作業地】

隱戸、駒橋、淀

【航海中】

淺間、磐手 (十二日新嘉坡發—亞丁へ)

佐多 (十八日「タラカン」發—徳山へ)

襟裳 (十九日吳發—「タラカン」へ)

保津 (二十四日九江發—上海へ)

安宅 (二十五日上海發—漢口へ)

野島 (二十五日大湊發—横須賀へ)

春日、大和 (二十六日横須賀發—東京灣へ)

球磨 (二十六日「イロイロ」發—「プラタス」ヲ經テ

馬公へ)

掃六、掃一、掃三、掃五 (二十六日長浦發—東京

灣へ)

洲崎 (二十六日横須賀發—徳山へ)

大井 (二十七日吳發—廣島灣へ)

(號外四頁、部内限號外七頁)

1821 0326

海軍公報 號外

昭和九年三月二十七日(火)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第六六七號ノ二

海軍購買名簿中左ノ通改正ス

昭和九年三月二十七日

海 軍 大 臣

一 地金、礦石類 第一項中釜石鑛山株式会社ノ行ヲ左ノ通改ム

日本製鐵株式会社 東京市京橋區木挽町七丁目五 釜石製鐵所 岩手縣上閉伊郡釜石町

一 地金、礦石類 第五項中三菱製鐵株式会社ノ行ヲ左ノ通改ム

日本製鐵株式会社 東京市京橋區木挽町七丁目五 兼二浦製鐵所 朝鮮黃海道黃州郡兼二浦面

一 地金、礦石類 第七項中輪西製鐵株式会社ノ行ヲ左ノ通改ム

日本製鐵株式会社 東京市京橋區木挽町七丁目五 輪西製鐵所 室蘭市輪西町

海軍公報 號外

1822 0327

<p>二 金屬、材料類 第二一項、三機械、器具類第二七項、同第二七項ノ二、同第二八項、同第二九項、同第三九項、同第四二項、四電氣機械、器具、材料類第一項、同第三項、同第四項、同第五項、同第六項、同第七項、同第八項、同第九項、同第一二項、同第一三項及同第一四項中株式會社日立製作所ノ所在地ヲ「東京市麴町區丸ノ内二丁目二〇」ニ改ム</p>	
<p>三 機械、器具類第九項、同第一〇項、同第三〇項及同第三一項中合名會社宇都宮製作所ノ行ヲ左ノ通改ム</p>	
<p>合名會社宇都宮製作所</p>	<p>東京市品川區大崎二丁目三五〇</p>
<p>第一工場</p>	<p>東京市品川區大崎二丁目三五〇</p>
<p>第二工場</p>	<p>東京市品川區五反田一丁目四二九</p>
<p>三 機械、器具類第一一項、同第一二項、同第一四項、同第一五項及同第一六項中「寺内梅次郎」ヲ「株式會社寺内製作所」ニ改ム</p>	
<p>三 機械、器具類第一三項中</p>	
<p>株式會社寺内製作所</p>	<p>京都市伏見區深草芳永町六六六</p>
<p>ヲ加フ</p>	
<p>三 機械、器具類 第一五項中</p>	
<p>山本螺旋合名會社</p>	<p>東京市小石川區武島町二二</p>
	<p>東京市小石川區武島町二二</p>

1823 ~~0328~~

フ加フ 三 機械、器具類第二三項及同第二三項中日本研磨砥石株式會社ノ行ヲ左ノ通改ム	日本研磨砥石株式會社 京都市乙訓郡神足村大字神足	第一工場	京都市乙訓郡神足村大字神足
三 機械、器具類第三三項、同第三四項、同第三四項ノ二及同第三四項ノ三中「町田哲二郎」ヲ「日本空氣機械株式會社」ニ改メ工場名ヲ削ル	第二工場 京都市伏見區深草中島町三	第一工場	京都市乙訓郡神足村大字神足
四 電氣機械、器具、材料類第六項中	株式會社小穴製作所 東京市淺草區清川町三丁目一二	東京市淺草區清川町三丁目一二	東京市淺草區清川町三丁目一二
四 電氣機械、器具、材料類第二四項中	フ加フ 山本 與五郎 神戸市林田區大池町四丁目二	山本精密工作所	神戸市林田區大池町四丁目二
四 電氣機械、器具、材料類第三六項中	フ加フ	山本精密工作所	神戸市林田區大池町四丁目二

東京製線株式會社		東京市麴町區丸ノ内三丁目一〇		川崎工場		川崎市古川通六五	
四 電氣機械、器具、材料類第四五項ノ次ニ左ノ通加フ							
ヲ加フ							
四六	一般用發火栓	野澤三喜三	東京府北多摩郡立川町三〇	立川工場	東京府北多摩郡立川町三〇四六		
		松尾鶴松	東京市澁谷區八幡通二丁目	松尾發火栓製作所	東京市澁谷區八幡通二丁目二四		
		日本碍子株式會社	名古屋市南區堀田通二丁目		名古屋市南區堀田通二丁目一		
		三菱電機株式會社	東京市麴町區丸ノ内二丁目	神戶製作所	神戸市兵庫區和田崎町三丁目		
		株式會社芝浦製作所	東京市麴町區有樂町一丁目		横濱市鶴見區末廣町二丁目四		
		株式會社日立製作所	東京市麴町區丸ノ内二丁目	日立工場	茨城縣多賀郡日立町宮田		
四七	電氣熔接機	富士電機製造株式會社	川崎市田邊新田一		川崎市田邊新田一		
		大阪電氣株式會社	大阪市浪花區敷津町一丁目		大阪市浪花區敷津町一丁目七		
四八	動力用酸化銅整流器	株式會社京三製作所	横濱市鶴見區平安町二丁目		横濱市鶴見區平安町二丁目三一		
		湯淺蓄電池製造株式會社	大阪府三島郡高槻町大字古		大阪府三島郡高槻町大字古會部		
四九	タンガリ充電器	株式會社芝浦製作所	東京市麴町區有樂町一丁目		横濱市鶴見區末廣町二丁目四		

1825 0990

五 計器、通信器類第六項及同第一七項中清水莊平ノ所在地及工場所在地ヲ「東京市蒲田區下丸子町一〇一〇」ニ改ム

五 計器、通信器類第三七項中

太田 彌太郎 東京市目黒區東町五七

太田式計器製作所 東京市荏原區中延町七三

ヲ加フ

五 計器、通信器類第三七項中萱場四郎ノ行ヲ削ル

五 計器、通信器類第三八項ノ次ニ左ノ通加フ

三九 燈 攜帶用瓦斯信號燈

日本光機工業株式會社

八九 橫濱市鶴見區潮田町北新田

橫濱市鶴見區潮田町北新田八九

四〇 航法目標燈 (航空投下用)

株式會社昭和製作所

二二 東京市大森區堤方町二二

東京市大森區堤方町二二

四一 須式水準儀
須式定針儀
同上附屬品共

株式會社東京計器製作所

東京市蒲田區新宿町八六〇

東京市蒲田區新宿町八六〇

七 石炭、煤炭類 第一四項中

河西コークス製造株式會社

九〇〇 橫濱市神奈川區子安町海道通二

九〇〇 橫濱市神奈川區子安町海道通二

ヲ加フ

一一 護謄、エボナイト類第七項中	藤倉工業株式會社 二 東京市品川區五反田三丁目一三	東京市品川區五反田三丁目一三
ヲ加フ		
一三 塗料及原料類第二四項中藤木顯文ノ所在地及工場所在地ヲ「東京市品川區北品川四丁目七二八」ニ改ム		
一三 塗料及原料類第二六項ノ次ニ左ノ通加フ		
二七 ホットベネジアン 聖東亞船底塗料會社	東亞ペイント製造株式會社 大阪市西淀川區高見町一丁目三六	大阪市西淀川區高見町一丁目三六
一四 藥品類第九項ノ次ニ左ノ通加フ		
一〇 ハイドロキノロン	大日本製藥株式會社 五 大阪市東區道修町三丁目二	東京工場 東京市下谷區谷中初音町四丁目一八六
一七 雜品類第四項中丸星株式會社ノ行ヲ削ル		
一七 雜品類第一〇項中帝國酸素株式會社ノ行ヲ左ノ通改ム		
兵庫工場	神戸市林田區高松町四七	
神奈川工場	横濱市神奈川區子安町海道通三〇六二	

帝國酸素株式會社		神戸市神戸區明石町三八		小倉工場	小倉市板櫃町平田五八九
一七 雜品類第九項及同第一〇項中「横須賀酸水素株式會社」ヲ「日本電化工業株式會社」ニ改ム				大阪工場	大阪市此花區櫻島町三七
一七 雜品類第二五項ノ次ニ左ノ通加フ				名古屋工場	名古屋市中區江越町三丁目一五
二六 コルク粒板		西尾 福太郎	廣島縣佐伯郡平良村	水俣工場	熊本縣葦北郡水俣町大字濱
二三 治療品第三項ノ次ニ左ノ通加フ		大阪コルク工業合資會社	大阪市東成區白山町一丁目一		
四 手術手袋	明治護謨工業株式會社	東京市京橋區京橋二丁目八			
五 齒科用材料品 (金屬材料ヲ除ク)	松風陶齒製造株式會社	京都市東山區福稻上高松町一			
六 ゴムカテゴリーテル	東京護謨工業株式會社	東京市足立區日ノ出町一丁目三五			
七 レ線發生裝置	株式會社 島津製作所 株式會社 大日本レントゲン製作所	京都市中區河原町二條下ル一ノ船久町三七八 大阪市北區東野田町五丁目六七			
			太陽コルク工業所		
			廣島縣佐伯郡平良村		
			大阪市東成區白山町一丁目一		
			東京市豐島區西巢鴨四丁目一五二		
			京都市東山區福稻上高松町一		
			東京市足立區日ノ出町一丁目三五		
			京都市三條西大路西		
			大阪市北區東野田町五丁目六七		

海軍公報

第二千三百三十一號

海軍大臣官房

昭和九年三月二十八日(水)

○通牒

航本第九一七號

昭和九年三月二十八日

海軍航空本部總務部

海軍各廳御中

航空技術關係圖書實費配付ノ件通知

先般實施セラレタル臨時飛行機體強度計算法講習ニ於ケル講義録左記ノ通實費配付可致候條要望ノ向ハ至急御申込相成度

記

一、圖書名

イ、飛行機體強度計算法講義録(其ノ一)

本論

(約一〇〇頁)

一部

ロ、飛行機體強度計算法講義録(其ノ二)

質疑應答

(約九〇頁)

一部

ハ、飛行機體強度計算法講義録(其ノ三)

“NOTES ON THE DESIGN OF METAL STRUCTURES FOR AIRPLANES” (約八〇頁) 一部

以上三部ヲ一組トス

二、實費 (三部一組ニテ送料共) 貳圓

三、申込 各廳毎ニ要望數取纏メ代金ヲ添ヘ申込ムコト

四、申込期限 昭和九年四月三十日

五、配本期日 申込到着次第

六、送金先 海軍航空本部總務部 古賀主計少佐

(現金又ハ爲替ニヨルコト)

尙航空關係ノ艦船部隊各廳ニハ三月末日迄ニ參考圖書トシテ配付ノ豫定

○辭令

○昭和九年三月二十七日

任海軍書記

堀川久太郎

海軍公報 第二千三百三十一號

昭和九年三月二十八日

二九一

給七級俸
任海軍技手
給月俸七拾圓

露木 義雄

(各通)

速水 頌一郎
東中 秀雄

水路部ニ於ケル磁氣測量囑託ヲ解ク(三三〇海軍省)
舞鶴要港部附ヲ命ス 海軍書記 堀川 久太郎
海軍技手 露木 義雄

海軍艦政本部勤務ヲ命ス(以上三三〇同)

○雜款

○司令潜水艦變更
第十四潜水隊司令ハ一昨二十六日司令潜水艦ヲ呂號第二十八潜水艦ヨリ呂號第二十七潜水艦ニ、第二十四潜水隊司令ハ本月二十四日司令潜水艦ヲ呂號第六十八潜水艦ヨリ呂號第六十三潜水艦ニ孰モ變更セリ

○軍艦韓崎行動豫定

地	名	着	發
吳	新居濱	三月二十八日	三月二十六日
今治		三十日	三十日
			三十一日

吳	神戶	三十一日	四月二日
神	津	四月四日	四月七日
吳		四月八日	四月八日

○郵便物發送先
軍艦韓崎宛

三月三十日迄ニ到達見込ノモノハ	今治
四月一日迄ニ同	吳
同 六日迄ニ同	神戶
其ノ後ハ	吳

○出發
小林特命檢閱使一行ハ來四月三日午後七時三十分東京驛出發ノ豫定

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○三月二十八日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、風翔、八雲、北上、伊勢、比叡、殿島、▽木曾

掃二、掃四

富士▲、尻矢、青島、膠州、大和、野島

(大鯨)

【長浦】区夕風、島風、汐風、灘風、区潮、曙、隴

呂二〇、呂二一、呂二二、区呂五五、呂五四、呂五六、区呂五九、呂五七、呂五八、区伊二三、伊二四

区掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】(初霜)

【大湊】区神風、野風、沼風、波風

大泊

【吳】

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、加古、勝力、白鷹、▽神通、区金剛、霧島、▽扶桑、日向、▽長良、名取、五十鈴、▽川内、▽長鯨、▽赤城、龍驤

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、区芙蓉、刈萱、朝顔、区敷波、浦波、綾波、区東雲、磯波、吹雪、区吳竹、若竹、早苗

区松風、春風、旗風、朝風▲、区菊月、望月、三日月、夕月、区疾風、追風、朝風、夕風、区陸月、卯月、如月、彌生、区沖風、峯風、矢風、澤風

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、区伊三、伊一、伊二、区伊五、伊四、伊五八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、区掃一三▲、掃一四▲

石廊、攝津、朝日、室戸、間宮、鶴見

(伊六八)、(最上)

【大阪】(初雁)、(掃一五)

【神戸】区伊五三、伊五四、伊五五 (伊六九)

【小松島】椿

【廣島灣】大井

【藤生】韓崎

区呂二七、呂二八、区呂六一、呂六〇、呂六二、区伊二一、伊二二、区伊五二、伊五一

【佐伯】区島海、高雄、愛宕、摩耶、▽青葉、衣笠、古鷹、▽那珂、▽由良、迅鯨

区電、雷、響、区曉、狹霧、漣、区深雪、白雪、初雪、区白雲、叢雲、薄雲

区伊五七、伊五六、区伊六一、伊六二、

【舞鶴】

伊六四、伊六六、伊六五、伊六七
鳴戸、神威
吾妻▲多摩
呂二六
夕張、加賀▲、足柄、羽黒、鬼怒、八重山、
常磐、▽龍田

【佐世保】

梨、竹、榎、▽龍田、桃、檜、櫻、▽水無月、
皐月、文月、長月、▽子日、初春
呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、
呂二九、呂三〇、呂三一、呂六五、
呂六六、呂六七、▽伊六〇、伊五九、
伊六三
▽千鳥、真鶴、友鶴▲
敷島▲、早瀬、知床
(若葉)

【長崎】

那智▲、妙高▲
能登呂

【阿久根】

▽太刀風、帆風、秋風、羽風

【馬公】

▽出雲
▽董、葦、菱、▽粟、柿、楡、梅

【枋】

▽藤、葛、薄、萩

【旅順】

天龍

【青島】

堅田、保津、伏見▲

【上海】

勢多

【漢口】

對馬、比良、熱海、鳥羽
岡田

【長沙】

宇治

【宜昌】

二見

【重慶】

嵯峨

【廣東】

隱戸

【作業地】

駒橋、淀

【航海中】

▽淺間、磐手 (十二日新嘉坡發—亞丁へ)
佐多 (十八日「タラカン」發—徳山へ)
襟裳 (十九日吳發)、「タラカン」へ)
▽安宅 (二十五日上海發—漢口へ)
春日 (二十六日横須賀發—東京灣へ)
球磨 (二十六日「イロイロ」發)、「フラタス」ヲ經テ
馬公へ)
洲崎 (二十六日横須賀發—徳山へ)
▽蓬、葵、蓮 (二十八日莞島發—木浦へ)
▽呂六三、呂六四、呂六八 (二十八日寺島水道發—
佐世保へ)

(附録八頁、部内限ナシ)

1832 0337

海軍公報 附録

昭和九年三月二十八日(水)
海軍大臣官房

○ 雜款

○ 圖書

去ル二月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍文庫)

和漢書ノ部

A三一 軍 政

米國海軍政策 附 米國海軍航空運用政策 軍令部編 昭和九 P 一八五

A三三〇 糧 食

日本兵食史 (上、下卷) 陸軍糧秣本廠編 昭和九 P 九三〇
東京 糧友會 九三二

A四〇〇 統 帥

統帥權の干犯と確立 赤松克麿著 昭和八 P 一八三
東京 國民協會出版部

A五五三 燃 料

海軍燃料廠調査報告 第十四號 秋田 稷著 昭和九 P 一八四
揮發油に就いて 其五 硫黄定性及定景法 昭和九

〇〇四〇 旗 章

獨國旗章令 軍令部編 昭和八 P 一八三

〇四一〇 水路誌

北海道樺太南部沿岸水路誌 追補第三 水路部編 昭和八、九 P 一八三

第一卷 總記、航路、北海道本島

第二卷 千島列島、樺太南部

D〇〇〇 歴史一般

世界歴史大系 平凡社編 昭和八 東京 平凡社 九二六

第三卷 東洋古代史 橋本増吉著

第十四卷 西洋古代史 杉 勇、石橋智信、大島 清共著

第十九卷 西洋近世史 阿武 實、佐藤堅司共著

第二十卷 西洋近世史 (三) 長 壽吉著

D一一〇 日本史

我等の國史 中村孝也著 昭和八 東京 葦華社 九三〇

日本歴史 (岩波講座) 國史研究會編 昭和八、九 東京 岩波書店 九三四

律令制度

中世に於ける國體觀念

皇家中興の大業

政黨の發達

城廓の變遷

皇威の發展と氏姓制度

不安時代の政治

瀧川政次郎 著

平 泉 澄 著

黒板勝美 著

尾佐竹 猛 著

鳥羽正雄 著

用上多助 著

吉村茂樹 著

日宋關係 不安時代の宗教生活と庶民階級 江戶時代の經濟 有職故實 露國の東亞政策 藤原氏の興隆 飛鳥奈良時代の佛教建築 日明關係 江戶幕府政治 江戶の市制 神社の崇敬 日唐關係 日唐關係 莊園制の發達 室町幕府政治 近世初期農村の問題 關學の發達 明治時代の教育 南都佛教 室町時代の日鮮關係 室町時代の皇室と國民 條約改正 皇陵 歴史地理 本邦地圖の發達	D 二二一 東洋史—支那 耶律羽之原著 濱名寬祐原譯 有賀成可編 昭和八 東京 東大古史學會	D 四二〇 世界大戰—陸戰史	本宮泰彦著 松本彦次郎著 土屋喬雄著 出雲路通次郎著 齋藤清太郎著 丸山二郎著 足立康著 秋山謙著 中村孝也著 幸田成友著 宮地直一著 末松保和著 筑波勝磨著 西岡虎之助著 魚澄惣五郎著 中村吉治著 板澤武雄著 大久保利謙著 橋本凝胤著 中村榮孝著 淺野長武著 森谷秀亮著 和田軍一著 藤田元春著 廣田伊人著	歐洲戰爭研究資料 (第二十七輯) 參謀本部編 昭和八 五四一〇 條約集 改國際條約集 立作太郎等共編 昭和八 東京 外交時報社 五五二〇 各國國情—滿蒙 奉天省各縣縣況要覽 奉天省公署總務廳財政科編 大同二 P 二八四七 海商法原論 森清著 昭和九 東京 有斐閣 P 二七〇 現法令輯覽 內閣官房記錄課編 昭和八 東京 帝國地方行政學會 第一輯 憲法、皇室 第二輯 帝國議會 第三輯 官規 第四輯 服制、徽章 第五輯 褒賞、恩給 第六輯 文書、統計、國勢調査 第七輯 社寺、宗教 第八輯 地方制度 第九輯 警察、衛生 第十輯 社會 第十一輯 土地 第十二輯 財務 第十三輯 軍事 第十四輯 法務 上 第七卷 法務 下	P 二七四
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------	----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------

1834 0339

第十五輯 學事
 第八卷 第十六輯 産業上
 第九卷 第十六輯 産業下
 第十卷 第十七輯 交通、電氣上
 第十一卷 第十七輯 交通、電氣下
 第十二卷 第十八輯 外事
 目錄 索引

G二〇一 經濟政策
 平價切下に備へよ 影響と対策 勝田貞次著 昭和九
 東京 千倉書房 九三六

G二〇二 各國經濟
 恐慌の 世界經濟の動向 慶應義塾大學金融研究會編
 新段階と 昭和九 東京 森山書店 九三〇
 獨逸政治經濟研究 田畑爲彦著 昭和九
 東京 立命館出版部 九三四

G二一〇 經濟原論
 日本戰時經濟論 (經濟學全集 第六十三卷)
 慶應義塾大學日本經濟事情研究會編 昭和九
 東京 改造社 九三七

G二一一 經濟學
 理論經濟學講義 (第二冊) 松浦 要著 昭和九
 東京 廣松堂書店 九三九

H一〇二 能率
 能率百話 上野陽二著 昭和八 東京 千倉書房 九四九

H一〇三 組合
 産業組合と反産運動 都市、農村經濟プロットの對立と其統制
 宇原義豊著 昭和九 東京 經營研究社 九三五

H一三一 纖維工業

衣服材料の基礎知識 菱山衛平著 昭和八
 東京 文光社 九三七
 最近紡織纖維論 阿部久治著 昭和六
 東京 培風館 九四八

H一四〇 交通

世界一周 日本郵船株式會社編 昭和七
 P一八四三
 H二二二 國勢三關スル統計
 昭和 矢野恒太、白崎亨一共編 昭和八
 八年版 日本國勢圖會 東京 日本評論社 九二三

I一七〇 日本地誌—事情

昭和 朝鮮事情 朝鮮總督府編 昭和八
 九年版 P一八四〇

I三三〇 亞細亞地誌—滿蒙

滿洲觀感記 小柳司氣太著 昭和九
 東京 東亞民族文化協會 P一八三七

蒙古とはどんな處か 財團法人 善隣協會編
 昭和九 東京 善隣協會 P一八四四

奉天省公署要覽 (日文) 奉天省公署總務處總務科編
 大同二 P一八四六

I四七〇 西洋地誌—案内

渡歐案内 日本郵船株式會社編 昭和六
 P一八四三

I五一〇 紀行—外國

埃及見物 日本郵船株式會社編 昭和四
 I六〇〇 地圖 P一八四一

都市計畫 路線入	大東京各區別地圖	「メートル」法批判	土木技術 に關する	米獨 の	訂改 混凝	耐震建築問答	外人の觀たる日本國民性	不穩思想の真相と其對策	神ながらの道	非常時に於ける榮養食に就て	五、一五事件 に於ける	社會政策學概論	當面の社會政策	勞働保護法規並解釋例規	西部戰線異狀なしは嘘だ	皇太子殿下御誕生奉祝歌
内山善三郎著 昭和八 東京 内山模型製圖社	中山善三郎著 昭和八 東京 内山模型製圖社	尺貫法存續聯盟編 昭和九 東京 刀江書院	土木研究會編 昭和八 大阪 淀屋書店出版部	立花次郎著 昭和五 東京 橋梁研究會	近藤泰夫著 昭和八 大阪 淀屋書店出版部	附 耐風、耐火、防空 田邊平學著 昭和八 東京 丸善株式會社	矢吹慶輝編 昭和九 東京 財團法人 中央教化團體聯合會	綾川武治著 昭和八 東京 長春出版社	今岡新一良譯 東京 富山房	長嶺宗信著 昭和八 兵庫 日本兒童協會	鈴木鷲山著 昭和八 附録 荒木陸相閣下に寄す	林 癸未夫著 昭和九 東京 章華社	社會立法協會編 昭和七 東京 社會立法協會	社會局勞働部編 昭和八 東京 財團産業關利協會	ウイルヘルム、ミュラー、ヘルド原著 柴尾與一郎譯 昭和六 東京 庄司印刷所	文部省編 昭和九
A 六四七	A 六四七	九二八	九三四	九四〇	九三四	九四二	九三三	九三五	六四六	一七九六	一八三三	九三三	九三三	九三六	一八三三	一八三三

テトラライ全集	テトラライ原著 上野陽一譯	東京 同文館	九三三
第一卷	著述	昭和七	
第二卷	論文	昭和八	
M五四〇	紀念寫真帖		
大日本海軍展覽會記念帖	(關東防空大演習記念 海軍大演習觀戰式記念)		
	海軍中佐 守野維雄編	昭和八	V六五
	海軍協會		
M五五〇	戰役記念寫真帖		
明治三十七 八年戰役	海軍陸戰隊椅子山砲撃ノ寫真		V六三
洋書ノ部			
1. ENGLISH BOOKS.			
(B100. Ships-General)			
Hardy, A. C.-Motorships of the World and Motorshipping Register: An Annual Reference Work of Motor and Motor- Electric Ships. 1933, London, Sampson Low, Marston & Co.			8564
(B110. War Ships)			
Baxter, James Pinney.-The Introduction of the Ironclad Warship. 1933, Cambridge, Harvard University Press.			8554
United States Navy Department.-Ship's Date U. S. Naval Vessels. (January, 1 1931)			
1931, Washington, U. S. Government Printing Office.			8537
(B300. Aircraft-General)			
Brittain, Sir Harry.-By Air. 1933, London, Hutchinson & Co.			8555
Hall, S. Scott and England, F. E.-Aircraft Performance Testing. 1933, London, Sir Isaac Pitman & Sons.			8577 & 8578
Richardson, J. M. and McCormick, John.- Man's Wings-How to Fly. 1931, Chicago, The Reilly & Lee Co.			8568 to 8570
(B300. Ordnance-General)			
Officers of the U. S. Navy.-Naval Ordnance: A Textbook Prepared for the use of the Midshipmen of the U. S. Naval Academy. 1933, Annapolis, The U. S. Naval Institute.			8581
(B340. Ammunition)			
Coxe, Wallace H.-Smokeless Shotgun Powders: Their Development, Composition and Ballistic Characteristics as they Effect the Action of your Shotgun. 1933, Wilmington, E. I. Du Pont De Nemours & Company.			8582
(B400. Engine-General)			
Treasury Department U. S. Coast Guard.- Handbook on Care and Operation of Gasolin			

1837 0342

- Engines, 1917, Washington, Government Printing Office. 8550
- (G390. Aeronaútic)
Oriebar, A. H.-Schneider Trophy: A Personal Account of High-Speed Flying and the Winning of the Trophy, 1933, London, Seeley Service & Co. 8552
- (F703. Law-General)
Bullock, C. L.-Manual of Air Force Law: The following Instruction are Promulgated for the Information and Guidance of all Concerned. (Air Publication 804 2nd Ed. January, 1933) 1933, London, His Majesty's Stationery Office. 8553
- (H010. Industrial Problems)
Farmer, M. A. Eric.-The Causes of Accidents: Three Lecture on Recent Research into the Causes of Accidents Given at the Royal Society of Arts under the Heath Clark Bequest to the National Institute of Industrial Psychology. 1932, London, Sir Pitman & Sons. 8548
Mogensen, Allan H.-Common Sense Applied to Motion and Time Study. 1932, N. Y., McGraw-Hill Book Co. 8543
- Tead, Ordway.-Human Nature and Management: The Application of Psychology to Executive Leadership. 1929, N. Y., McGraw-Hill Book Co. 8545
- (H23C. Year Books)
Burge, C. G.-The Air Annual of the British Empire, 1933-34 Vol. 5. 1933, London, Sir Issue Pitman & Sons. 8560 to 8563
- (J213. Electricity)
Gemert, Andreas.-Liquid Dielectrics. 1933, N. Y., John Wiley & Sons. 8546
Moultin, E. B.-The Principles of Electromagnetism. 1932, Oxford, The Clarendon Press. 8542
- (J300. Engineering-General)
His Majesty's Stationery Office.-Technical Report of the Aeronautical Research Committee for the Year 1931-32 with Appendices 1933, London, His Majesty's Stationery Office.
Vol. 1 Aerodynamics, Airships, and Meteorology.
Vol. 2 Stability and Control, Spinning Strength of Construction Materials, Etc. 8565 & 8566

1838

8549

- Hughes, L. E. C-Elements of Engineering Acoustics an Account of the Factors which influence the Reproduction of Sound. 1933, London, Ernest Benn, Ltd. 8539
- (J301. Annual Meeting & Etc.)
American Society for Testing Materials.-
Proceedings of the American Society for Testing Materials Thirty-Fifth Annual Meeting. Vol 82 1933, Philadelphia, American Society for Testing Materials.
Part 1. New and Revised Tentative Standards Tentative Revision of Standards. 8567
Part 2. Technical Papers.
(J310. Mechanical Engineering-General)
Bardtke, Professor P.-Technique of Modern Welding. 1933 London, Blackie & Son Ltd. 8549
Lincoln Electric Company.-Procedure Handbook of Arc Welding Design and Practice. 1933, Cleveland, The Lincoln Electric Company. 8580
United States Navy Department.- U. S. Navy Drop Forging Book: Covering Drop Forging Under All Bureaus for which Dies are on Hand at Navy Yards. 1919, Washington, Government Printing Office. 8551
- (J320. Electrical Engineering-General)
Weares, J. W. and Neale, R. E.-Electrical Engineering Practice. Vol. 3 A Practical Treatise for Electrical Civil, and Mechanical Engineer with Many Tables and Illustrations. 1933, London, Chapman and Hall, Ltd. 8541
Morecroft John H.-Electron Tubes and their Application. 1933, N. Y., John Wiley & Sons. 8540
(J322. Communication)
Ladner, A. W. and Stiner, C. B.-Short Wave Wireless Communication. 1932, London, Chapman and Hall, Ltd. 8538
(J331. Metal)
Thum, Ernest E.-The Book of Stainless Steels: Corrosion Resisting and Heat Resisting Chromium Alloys. 1933, Cleveland, American Society for Steel Treating. 8576 & 8579
United States Department of Commerce. Standards and Specifications for Metals and Metal Products: Nationally Recognized Standards and Specification for Ores, Metals, and Manufactures Except Machinery, Vehicles, and Electrical Supplies. 1933, Washington, U. S. Government Printing Office. 8583

1840

~~1845~~

(J340. Automobile)

Society of Automotive Engineers.-S. A. E.
Handbook. 1933. N. Y., Society of
Automotive Engineers. 8571 to 8575

(K101. Psychology)

Welch, Henry J. & Miles, George H.-
Industrial Psychology in Practice. 1932. 8544
London, Sir Isaac Pitman & Sons.
Welch, Henry J. & Myers, Charles S.-Ten
Years of Industrial Psychology an Account
of the First Decade of the National Institute
of Industrial Psychology. 1933, London,
Sir Isaac Pitman & Sons. 8547

2. LIBRES FRANÇAIS.

(Y600. Science)

Imprimerie Chaix.-Bulletin De L'association
Technique Maritime et Aéronautique. No.
37. 1933, Paris. 1357 to 1359